

◆ それでは、事業評価シートの取りまとめが終了しましたので、結果についてお伝えします。

◆ まず、本日の意見についてですが、

- ① 耐震・防災のまちづくりを進めるためには、課題を明確にして、地域への動機付けすることが重要である。
- ② 局間で連携をとりながら、期限を決めて取り組むべきである。
- ③ 道路や下水道事業との連携をとりながら進めるべきである。
- ④ 地域の課題は地域で解決することが必要であると思うので、企業を退職した方で、マネジメント能力の高い人もいるので、成功例や知恵の共有をして参加を促すべき。
- ⑤ ひとの気持ちが大切な事業なので、パンフレットなどに気持ちがあらわれるようにすることが有効である。
- ⑥ 事業の対象となっている方々の理解が進まないと、事業が進まないということが課題だということだが、行政のイニシアチブを発揮することが重要である。
- ⑦ いえ・みち まち改善事業については、まず協議会がない7割の地区に協議会の設立を促すべきである。防災対策のまちづくりを進めるためには、区の職員と一緒に地域をまわってコミュニケーションを図ることが重要である。

など、多くの意見が出されました。

◆ 一方で、

- ① 地震でビルが倒れて道路を塞ぐことがあるので、ビルに対する備えも重要である。
- ② いえ・みち まち改善事業のエリアの方は高齢化している。動機付けをしてもなかなか進まない実態がある。実態にあわせた取り組みも必要である。
- ③ いえ・みち まち改善事業については、国費も使って事業を進めていることは評価できる。

などの意見もありました。

◆ 提案された意見としては、

- ① いえ・みち まち改善事業の地区内で、マンションは津波の際の一時避難場所になることもあるので、そのような助言なども行うべき。良い取り組みがあれば、地区全体で、ウェブサイト等で情報共有するなど支援することも重要である。
- ② 狭あい道路拡幅事業について、拡幅の要望が多い地域には、低い補助率を適用するなどの工夫はできないか。
- ③ 再開発事業のデベロッパーのような事業を推進する「エンジン」となるような仕組みを取り入れることを検討すべき。
- ④ いえ・みち まち改善事業の地区の代表者が集まる場を設けることが有効である。また、まちづくりの進捗がウェブサイトで見られるようにすることも有効である。

などの意見がありました。

◆ それでは、この結果をふまえ、今後の予算編成の中で、事業のあり方を含めて見直しを進めていただきたいと思います。

以上で、当該テーマに関する事業評価を終了します。